

国立彰化師範大学 留学体験報告書

留学・研修等時の 本学の所属、氏名	課程 共生社会教育 専攻・コース 国際共生教育 学年 3 氏名 樋口奈苗
留学・研修等の期間	2010年 9月 6日 ~ 2011年 6月 24日
留学・研修等の国、大学名	台湾 国立彰化師範大学
留学・研修等の種類	交換留学
奨学金名（金額）	無し
留学・研修等の目的・動機	語学力向上のため
求められた語学力 及び具体的な準備内容	中国語4単位以上修得  NHKラジオ講座や自分で購入した中国語教材を使って勉強した。
留学・研修等の選考方法	学内書類選考
情報収集方法	彰化師範大学との交換留学は今回が第一回目だったため、彰化師範大学の事務の方に直接メールで疑問点を聞いた。7月に彰化師範大学から、出発前に準備するものなどが書かれた詳しいパンフレットが届いた。
語学クラスの状況 (人数、内容等)	日本人2人、韓国人5人、アメリカ人1人、計7人の1クラス。彰化師範大学に来る交換留学生は少ないので、語学レベルに大きな差がない限りクラス分けはない。基本的には教科書を使った授業が中心だが、自由度が高く課外授業が頻繁にある。
履修科目・内容	台湾文化・書道・卓球・グローバル化問題・倫理学・文字学(漢字の歴史)

先方大学等の 単位認定状況	
本学での単位認定状況	
学年歴 (学期・試験・休暇等)	前期：9月上旬～1月中旬 後期：2月中旬～6月下旬（4月頭に1週間ほどの春休みあり） ※試験は前期後期ともに中間・期末の2回ずつ
履修に関する留学先大学の サポート（チューター等）	交換留学生2・3人につき1人の学生のチューターがついてくれる。
学習環境（図書館等）	地下1階地上4階建ての立派な図書館がある。試験期間は席を確保しづらい。
居住環境	寮 4人部屋、シャワー室・トイレ・洗濯機は共同利用 布団は日本から送っても台湾で買ってもOK 飲水機あり
生活費（月額）	約3万円

物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	物価は日本の約3分の1。弁当が1個150円。 寮代は1年で約4万円。 交通費に関しては、彰化から台中まで約150円 台北までは高速バスで約900円（2時間半）。
留学・研修等の必要総額 (渡航費、生活費を含む)	往復航空券 約10万 海外旅行保険 約9万 生活費(寮代・教科書代など台湾でかかったすべての費用) 約50万 合計 約69万
治安状況	「夜は1人で出歩かない方がいい」と言われた程度。

	穏やかな国という印象です。
保険	日本で旅行会社の海外保険に加入
その他注意すべき事項	<p>台湾では、必要なものはほとんど安く手に入るの 持ち物に関しては心配いらないと思います。</p> <p>ひとつ注意した方がいいと思うのは、台湾の冬は結構寒い ということです。ダウンのコートを着るくらい寒いです。</p> <p>しかし寮には暖房器具はひとつもありません。私は冬のあ いだに3回ほど風邪をひきました。日本から持って行って いた風邪薬が一瓶空になりました。</p> <p>なので、風邪薬と暖かい冬物衣料は必須だと思います。</p>

## 留学・語学研修等体験レポート（自由記述）

去年彰化師範大学が姉妹校になり、私たちが第一回目の派遣学生でした。はじめはわからないことだらけで戸惑うこともしばしばでしたが、10か月の留学を終えて2カ月経った今、台湾での生活は本当に最高に有意義なものだったと改めて思います。

まず、台湾には国立の師範大学が3つあります。台湾師範大学、高雄師範大学、そして彰化師範大学です。彰化師範大学は台湾中部の彰化県に位置し、2つのキャンパスがあり、21の学部を持つ、比較的大きな大学だと思います。構内は緑にあふれ、きれいに整備されており、また4階建ての立派な図書館もあり、とても気持ちよく勉強できる環境です。

彰化師範大学に来る留学生は毎年あまり多くないようです。去年は、私たち日本人2人・韓国人5人・アメリカ人1人で、その前の年は、フランス人2人・韓国人1人だけだったと聞きました。留学生は、大学のすぐ隣の言語センター（語言中心）で中国語の授業を受けます。最初にクラス分けの中国語のテストがありますが、人数が少ないので、レベルによっぼどの差がない限り全員同じクラスになります。授業はすべて中国語で行われ、週に10時間～15時間、2人の先生が交代で教えてくれました。基本的には繁体字での授業ですが、先生たちは私たちが簡体字で勉強してきたことを知っているのので、作文などでは配慮してくれました。少人数クラスなので、ほとんどの授業が対話形式でアットホームな感じでした。そのため、授業中に中国語をたくさん話せるのでとてもよかったですと思います。去年は、台湾の高校に行って自分の国の文化についての発表をするという課外授業があり、パワーポイントや発表原稿の作成に少し苦勞しました。

留学生は、中国語の授業以外に、台湾の学部生に開講されているすべての授業を選んで取ることができます。きちんと授業に出て、大変ですがレポートなどを提出すれば、留学生でも単位を取ることが可能です。単位は取れなくても、台湾の学生と同じ授業を受けることは中国語の上達につながるのので、積極的に聴講してみるといいと思います。

次に、台湾の生活について書きます。私は学校の中にある女子寮に住んでいました。彰化師範大学には留学生専用の寮というものはないので、台湾の学生と同じ寮に住みます。4人部屋で、シャワー・トイレ・洗濯機は共同で、台所はありませんが、建物自体はきれいで住みやすいです。4人部屋のメリットは、台湾の学生と仲良くなれることです。実際に、私はルームメイトの台湾人の女の子たちと親友といえるほど仲良くなりました。また、中国語の宿題を見てもらったりよく助けてもらいました。デメリットは、部屋で1人になれる時間がないことです。しかし、たったの10か月なので、貴重な経験と思って過ごせば特に問題はないかと思います。食事については、台所がないので自炊ができません。なので、基本的に3食とも買って食べることになります。寮の横にある学食か、大学を出てすぐにある弁当街（店がたくさん並んでいる通り）、スーパーマーケット、あるいは、セブンイレブン・ファミリーマートで買います。物価が日本の約3分の1なので、どこで買っても安くしておなかいっぱい食べることができます。餃子・チャーハン・火鍋・牛肉麵など

店の種類も豊富なので、当分の間は飽きないと思います。

彰化はどちらかといえば田舎なので、買い物をする場所や遊ぶ場所が少ないです。なので、休日には、よく台中に出かけました。バスと電車で40分くらいです。時間のあるときは、泊りがけで台北や台南、高雄に行きました。台湾は交通費がとても安いので、いろんなどころに行きやすいと思います。また、年に2回、大学主催の留学生日帰り旅行がありました。事前にどこに行きたいか留学生にアンケートをとって、人気が高かったところに連れて行ってくれました。

最後に、台湾で感じたことは、親日の人が多いということです。店のおじさんやタクシーの運転手の方など、私が日本人だとわかると笑顔で「こんにちは！」などと話しかけてくれました。特に親日だと感じたのは、東日本大震災が起こった際に駅で募金活動をした時でした。中学生からおじいさんおばあさんまで大勢の人が募金をしてくださって、後で聞いた話で、1カ月の給料すべてを募金したという方もいたそうです。本当に台湾には、人がよくてあたたかい人たちが多かったように思います。もし今中国語を勉強していて留学しようと思っているなら、私は台湾をおすすめします。

国立彰化師範大学 留学体験報告書

留学・研修等時の 本学の所属、氏名	課程 初等教育教員養成課程 専攻・コース 社会科 学年 2 氏名 柚木 はな
留学・研修等の期間	2010年 9月 6日 ~ 2011年 6月 24日
留学・研修等の国、大学名	中国 台湾省 彰化師範大学
留学・研修等の種類	交換留学
奨学金名（金額）	なし
留学・研修等の目的・動機	中国語 文化
求められた語学力 及び具体的な準備内容	特になし
留学・研修等の選考方法	面接、中国語単位
情報収集方法	学校HP
語学クラスの状況 （人数、内容等）	1クラス7～8人
履修科目・内容	華語、台湾文化、書道等
先方大学等の 単位認定状況	5単位
本学での単位認定状況	申請なし
学年歴 （学期・試験・休暇等）	2学期制、中間・期末考査、夏冬2回の長期休暇
履修に関する留学先大学の サポート（チューター等）	チューターあり
学習環境（図書館等）	言語センターで中国語を学ぶ
居住環境	寮、もしくは自分で部屋を借りることも可能
生活費（月額）	1万～5万

物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	一食150～500円
留学・研修等の必要総額 （渡航費、生活費を含む）	65万円
治安状況	比較的良い
保険	台湾の保険に入れる
その他注意すべき事項	台湾語ではなく北京語を学べるが、簡体字ではなく繁体字をつかう。

## 留 学・語学研修等体験レポート（自由記述）

### 長 所

- ・日本人が少なく（私たちが行った時は、私も含め2人）中国語に集中できる。
- ・一般の授業にも参加できる。単位互換もできる。
- ・寮に住み、一般の授業にも参加できるため、台湾人とたくさん交流ができる。
- ・2年生からの留学が可能。（大連は3年以上）
- ・比較的物価が安い。
- ・留学生が少なく、アットホームな中国語の授業。
- ・寮が安い。大連は高い。
- ・学校の設備が良い。（トラックのある運動場、ジムが使い放題。体育館もいくつもあり、いろいろなスポーツが楽しめる。図書館はとても広く、また無料で借り放題のDVDもたくさんある。W i i も遊べる。）
- ・食事はおいしい。日本料理や、日本のものがたくさんある。
- ・親日。

### 短 所

- ・簡体字ではなく繁体字を使うため、中国語検定や**HSK**受験を考えると不利。
- ・寮にキッチンがなく、自炊ができない。（大連はある）
- ・中国よりは、物価が高い。
- ・寮の環境はあまりよくない。大連は2人部屋、彰化師範大は4人部屋。ふろもトイレも部屋にはなく、ワンフロアに2か所ずつ。冷蔵庫も一つの寮に一つしかなく、中に入らない状態。テレビも寮に一つしかない。ネットは制限がある。あまり使いすぎると止まる。
- ・交通が不便。都会（台中）までバス、電車を乗り継ぎ1時間ほどかかる。

今回、彰師大への交換留学生第一号として行きましたが、相談できる先輩もなく、留学前の手続きや、留学先の事務の先生もあまり慣れていなかったりと、困ることがたくさんありました。しかし、生活面ではたくさんいい友達できて、支えられながら楽しく過ごせたと思います。彰化に行く前に、一番悩んでいたことは、言語です。——台湾は繁体字を使うが、大丈夫だろうか？台湾人は台湾語ばかりを話すのか？——確かに、中国語の授業では全く簡体字を使いませんでしたが、すぐに慣れることができました。しかし、簡体字を忘れないためにも**HSK**や中国語検定の勉強も同時にすることが大事だなと思いました。台湾語については、中国語の授業では北京語しか使わないので安心しました。普段の生活でも、私たち留学生には北京語で話しかけてくれました。台湾語は、「よく聞く機会がある」という程度で、北京語習得には問題はなく良かったです。逆に、台湾にいる間に台湾語にも興味を持ち、少し勉強しました。台湾語は台湾文化の一つで、学んでみると、とても面白かったです。2年生の後期から留学でき、あと1年半も大学生活が残っているので、これから中国語を活かしていろいろな活動に参加していきたいと思います。